



No.897

国際ロータリー第2530地区 郡山アーバンロータリークラブ

WEEKLY REPORT

2015
↓
2016

H28 3/23 水

◎国際ロータリー第2530地区ガバナー／酒井善盛 ◎会長／小口憲太朗 ◎幹事／蔭山寿一

世界への
プレゼントになろう

第35回例会

開会点鐘

ロータリー歌「奉仕の理想」斉唱

四つのテスト唱和

ゲスト紹介

蔭山寿一幹事

紺野敬子様(ゲストスピーカー)

宗形千鶴様(体験例会)

会長挨拶

小口憲太朗会長

台湾の新竹東北区RCと共に進めている水道事業が順調に進んでおりまして、セレモニーを5月20日に行いたいとの連絡があり、翌21日の例会のご案内も来ております。創立20周年記念式典には新竹東北区RCから10名が来られる予定です。できるだけ多くの皆さんで台湾に行ってお祝いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

岸和田東RCの皆さんも20周年記念式典に11名が来られる予定ですので、岸和田東RCの周年記念式典にも大勢で行きたいと思っております。絆を大切にしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

出席報告

蔭山寿一幹事

総員	34名
出席	20名
欠席	14名
出席率	58.82%
前回修正率	64.71%

スマイルBOX報告

津野順子委員長

小口憲太朗 紺野様の卓話楽しみです。

佐藤功一 紺野敬子さんのお話を楽しみにして!!

滝田幸子 民話楽しみです。

高橋功／大山三起雄／宮崎登志行
津野順子

幹事報告

蔭山寿一幹事

- 社会福祉法人福島いのちの電話の相談員養成講座の案内がきております。
- 例会終了後、緊急理事役員会を開催します。

プログラム／ゲスト卓話

ゲスト紹介

津野順子 スマイルBOX委員長

今日は皆さんと民話を楽しみたいと思います。紺野敬子さんは県にお勤めされていた時に、仕事の関係で遠野に出かけられて民話をお知りになり、退職後に本格的に取り組んでおられます。

ゲスト卓話

郡山かたれやまんばの会 会長
紺野敬子様

私はNPO語りと方言の会の会員です。この会は須賀川で福島未来博が開催



希望ヶ丘学園で感謝状をいただきました
(写真提供/福島民友)

●例会日／水曜日 12:30 ●例会場／ホテルハマツ 郡山市虎丸町3-18 TEL.024-935-1111
●事務所／〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1F TEL.024-923-0847/FAX.024-939-5678

[ホームページ] <http://k-urb.ri2530.jp>

された時の「からくり民話茶屋」を元に発足しました。86日間開催された福島未来博覧会の数あるパビリオンの中で一番の人気となり、当時の通産省からジャパンエキスポ大賞をもらいました。未来博が終わったあとにそのまま解散するのはもったいないと、三田公美子さんが理事長となってNPOが組織されました。この会のもっとも大きな事業は、郡山駅2階にある待合室奥の「おばちゃんの民話茶屋」での、年中無休の生の民話語りです。民話語りのイベントは各地で開催されていますが、365日休まずに生で語りをしているところはほかにありません。私も出演しておりますが、会員が2人ずつ毎日出ておりますので、ぜひ皆様にもお立ち寄りいただきたいと思います。

民話は昔から口伝えで語り継がれてきました。ここで途絶えてはもったいないと思いまして「郡山かたれやまんばの会」を興し、若い人たちを育てています。現在12人の会員が、介護施設や保育園・幼稚園はじめいろいろな集まりに呼んでいただいてボランティアで活動しております。私の故郷の飯坂には「♪お茶でも飲んでがんしおね～」という歌がありますが、高速道路ができるからは、すっかり過疎になってしまいました。民話には伝説、昔話、世間話などに分けられますが、今日は福島に伝わる「お春地蔵様」の話からお伝えしたいと思います。嫁と姑の話、タヌキとキツネの話もいっぱいありますので、それぞれひとつづつ語ってみたいと思っています。

「お春地蔵様」

むかーしむかしの話だ。福島の山口つつうどござ、たいした金持ち様がいだつけど。(息子が見初めて嫁にもらったお春が

病に伏せるようになり、姑が突き倒したはずみで死んでしまった。姑は嫁の亡骸を池に沈めるが、夜な夜な枕元に出て来る。お寺に相談したところ、地蔵を作って念仏を唱えて供養するようにと言われた。)わがの力でもどうしようもねえ人は、みんなで手を貸してくなんねんだぞって言われて、私が小ちえどき兄ちゃんに背負わっち連れてがっちゃ。ばあちゃんには「お春地蔵様はほんとにありがとうございました、1日3千人も来んだぞ」と教えらっちゃ。女の心の病も体の病も全部取ってくれるっちゅうお春地蔵様は、福島の山口にあります。300年ぐらい前のほんとの話です。

「二人の孫」

キツネ七化けタヌキ八化けなんて言つてるようだげんちょ、かわいい化け方をするのはタヌキで、これはじいちゃんから聞いた話です。むかーしむかしの話だ。あつとござ、仲人する人あって、嫁様もらった。十月十日過ぎて、めんげ男やや生まっしゃ。ところが産後の肥立ちが悪くて嫁はあの世さいちました。息子も流行病ではかなくいっちました。(祖父母が一生懸命に育てて13才になった孫は、大工の棟梁を目指して奉公に出て行った。送り出したじいとばあが寂しい思いをしているところに、孫が「腹がへって仕事ができない。飯を食わせて」と入ってきた。次の日も晩になると来て、それが毎晩続いた。盆になり、見違えるように立派になった孫が帰ってきた。毎晩来ていた孫の姿は変わっていなかった。その夜も変わらない孫が來たので、とっつかまえたところ、それは裏山のタヌキで、「親をなくしてどうしようかと考えていた時に、この家の孫が出て行くのを見たから」と

泣いて詫びた。)じいとばあは「にしゃが来ていて、なにほど生きがいだったかわがんね」って礼を言って、山さ返してやつたど。

「めっこ池のおききぎつね」

(笹川のお寺のそばに9人家族で住んでいた男は、信心深く働き者の小作人で、秋になるとめっこ池に小屋を作つて鴨猟をするのが樂しみだった。霜が降つたので、そろそろ鴨がくるかと鉄砲を持って小屋で待つた。夕暮れ近くになって出てきた子ギツネに命中したが、死んでいたのは庄屋の長男息子だった。言い訳できないと死を覚悟したが、詳細を知った妻が庄屋敷にかけつけたところ、息子は無事で、キツネが死んでいた。山の神が助けてくれたに違ないと、殺生はやめにした。)

私の菩提寺の医王寺には樹齢900年の椿がありますが、花をつけたことが一度もありません。義経の身代わりになって死んだ佐藤繼信・忠信の母である乙和に由来しています。これに関して、黒木大坂の隨想をお配りしましたので、後ほど目を通してください。

◎ロータリー財団寄付者

小口憲太郎／高橋功／味戸誠一郎
大山三起雄

◎米山記念奨学会寄付者

津野順子／小口憲太郎／宮崎登志行
白岩邦俊／味戸誠一郎／高橋功

◎ポリオ寄付者

小口憲太郎／蔭山寿一



閉会点鐘



(株)内藤工業所

内藤 清吾

郡山市鶴見担1-14-5
TEL.024-923-1800

N D R 長尾デザインルーム

長尾 勉

郡山市朝日1-20-11
TEL.024-932-2210